



安芸高田市長 浜田 一 義

新年明けましておめでとうございませす。安芸高田市民の皆様にご挨拶と新年のごあいさつを申し上げますとともに、平素は、市政推進に對しましてご理解とご協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

昨年は、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興に全力で取り組むとともに、最重要課題として位置づけていた人口減少対策を継続し、子育て支援の充実・学校教育の充実・地域での仕事づくりを柱として事業を展開してまいりました。

災害の復旧状況については、被災した公共施設道路や河川は、被災箇所すべての工事に着手しており、農林土木災害については、被災箇所の復旧に向けて測量・設計等を進めています。市民の皆様が安心して暮らせることを最優先に考え、一日でも早く復旧できるよう引き続き取り組んで

まいります。

子育て事業の充実については、平成31年4月に病児・病後児保育も対応した甲田いづみこども園が開園されました。また、令和元年10月に開始された、国の施策である保育料無償化に加え、本市独自の施策として給食費も無償とすることで、保育所と幼稚園の区別なく3歳児以上の保育を完全無償化して、子育てしやすい環境を整えました。

次に、学校教育の充実については、学力向上をめざし、市内小中学校へ電子黒板、タブレット端末などのICT機器を整備し、学習支援ソフトの導入に向けた取り組みを行いました。地域での仕事づくりについては、5者の起業支援を行い、また、誘致した4社のサテライトオフィスが開設されました。

このほかにも、「市民総ガイド構想」と位置づけ、市民の皆様だれもが、外国人とコミュニケーションをとり、ホスピタリティを高める施策を展開しました。その具体的な取り組みとして、タブレットやスマートフォンを活用した職員の研修や高齢者大学での講座を実施しております。また、伝統芸能の神楽については、首都圏の大学と

の連携に力を注ぎ、日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」、日本大学芸術学部と「伝統芸能の保存継承のために連携協力を行う協定」を締結しました。

当市の人口は、平成16年の合併以来、転入者が転出者を下回る「社会減」が続いていましたが、平成30年度に初めて転入者が転出者を上回る「社会増」となりました。このことは、これまで実施してきた人口増に向けた取り組みの効果の表れであると考えております。

本年は道の駅「三矢の里あきたかた」の開業、また、「田んぼアートプロジェクト」の本格始動を控えており、約1年3か月ぶりに全線の運行を再開した芸備線と併せて地域活性化に寄与できるものと期待しております。

令和という新しい時代に、市民の皆様が安心して生活ができるような施策を今後も展開していきたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

たしたところでありませす。

本市においては、平成30年7月豪雨災害から、現在復興の最中ではありますが、第1三篠川橋梁流失により一部区間で不通となっております。JR芸備線が、昨年10月には1年3か月ぶりに全線運行再開し、災害からの復興が目に見えて進んでいると実感できた年でもありました。

また、合併以降本市の人口は社会減が続いておりましたが、平成30年度初めて社会増を実現いたしました。これも、人口減少対策を主要施策と位置づけ、子育て支援の充実など人口増に向けた、様々な事業を行ってきた効果が表れてきたものと感じております。

そして、本年5月には、道の駅「三矢の里あきたかた」がオープンいたします。このオープンにより、安芸高田市の農産物など地域産業の振興の拠点、観光情報の発信の拠点、大規模災害時の防災拠点などの施設として、物流や交流人口の拡大につながり、市内全体の活力と、新たな魅力を創出して、市の活性化を図れることを期待しております。

本市議会においては、議員定数について議会改革特別委員会を中心に議



安芸高田市議会議員 先川 和 幸

安芸高田市民の皆様、新年明けましておめでとうございませす。

安芸高田市議会を代表して、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。市民の皆様には、お健やかで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より安芸高田市議会に對しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年も、度重なる台風や豪雨による被害など、大きな災害が各地で発生し、多くの方々が被害に遭われ、あらゆる公共施設や農業施設など産業基盤に甚大な被害をうけました。

一昨年の7月豪雨など、ここ数年異常気象による大雨等自然災害が頻発しており、改めて災害に備えて地域の実情を把握するとともに、官民一体となった自主防災組織の強化等、災害に強いまちづくりの必要性を再認識い

員全体で議論し、財政や地域性等を考慮した結果、本年11月に実施される市議会議員一般選挙より、議員定数が18名から16名となります。このことから、今以上に市民の皆様が多様な意見を市政に反映させるため、議員一人ひとりが研さんに努め、市議会が市民の皆様へ寄り添った、より身近な存在でなければならぬと存じます。

また、二元代表制の一翼として、市民の皆様への付託にこたえるべく、さらなる「真に市民に開かれた、市民のための議会」の推進と活性化を目指し、努力してまいります。

どうか本年も、市議会に對しまして二層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年の新春にあたり、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心から、ご祈念申し上げます。そして、新年のごあいさついたします。

令和二年 新年のごあいさつ